

農産物等販路拡大支援講座

▶経営管理について講演する臼井三郎さん

1月22日、中野地域職業訓練センターにおいて、農産物等販路拡大支援講座「経営管理の実践」講演会を開催しました。

講師に社団法人長野県経営支援機構副会長の臼井三郎さんを迎え、「計画を立て、ルールを守って、儲かる農業・楽しい農業」をテーマに、品質、安全・衛生、環境などに関する生管管理の実践や農業の6次産業化、農商工連携などについて、ご講演をいただきました。



信州のシンボル



NAKANO スナッツ

ものづくり

▶いろいろな形の団子を飾り付けました

1月8日、温泉公園もみじ荘において、作物の豊作を願う地域の伝統行事「ものづくり」を開催しました。

「ものづくり」は、米粉を練って蒸した団子で繭玉や野菜をかたどり、ミズキなどの枝に取り付けるもので、参加した皆さんは、いろいろな色の団子を思い思いの形にし、枝に飾り付けていました。

また、当日もみじ荘を利用された方々の飛び入り参加もあり、大いににぎわっていました。



市長を囲んでふれあいトーク

◀女性14人が参加し、意見交換を行いました

1月25日、人権センターにおいて、市内に在住、在勤する女性の方を対象とした「市長を囲んでふれあいトーク」を開催しました。

当日は14人が参加し、市政全般について、小田切市長とフリートーク形式で意見交換を行いました。

参加者からは、市の財政状況や介護・福祉、保育園の統合、施設整備計画などについて質問や意見が出されました。

新春邦楽の調べ

▶古来の伝統的音色が響きわたりました

1月14日、間山温泉公園ぼんぼこの湯において、恒例の「ぼんぼこの湯新春邦楽の調べ」が開催されました。

当日は、尺八演奏家で明山会会長の浜村明山さんと正派邦楽会（生田流）の皆さんが、「菊花繚乱」「光のトレン」など計7曲を演奏しました。

訪れた皆さんは、会場内に響きわたる尺八と琴の美しく心やすらぐ音色を聴きながら、新春のひと時を過ごしていました。



信濃から夢に向かって

◀ミニ野球教室で指導を受ける子どもたち

信濃グランセローズの選手が夢を語る講演会「信濃から夢に向かって」を1月30日、豊田公民館において開催しました。会場では小学生ら約140人が参加する中、竜太郎外野手、三宅英幸投手から、それぞれの体験を基に、夢を抱くことの大切さや努力することの大切さなど、野球に対する熱い思いを語っていただきました。

このほか、サイン会などが行われ、参加者の皆さんは選手との触れ合いを楽しんでいました。

表紙の説明

第47回 中山晋平記念音楽賞 優秀賞入選曲発表会

1月29日、第47回中山晋平記念音楽賞優秀賞入選曲発表会を、市民会館ホールにおいて開催しました。

当日は、長野県内および姉妹都市から応募があった139曲の中から選ばれた優秀賞入選曲を、市内小学生をはじめ音楽団体の皆さんが発表したほか、優秀賞・市内小学校佳作受賞者の表彰を行いました。

また、記念公演ではピアニスト・権野伸一さんによる演奏会も開催しました。（写真：記念公演の様子）



どんど焼き

◀書き初めを燃やす子どもたち

小正月の伝統行事で無病息災や豊作を祈願する「どんど焼き」が1月8日から10日および15日・16日にかけて、市内各所で行われました。

「どんど焼き」は、燃やした火で焼いたもちを食べると病気になるない、書き初めを燃やし高く上がると字が上手になると言い伝えられています。会場では、門松、しめ縄、だるまなどを飾ったやぐらが大きな火柱をたて、天高く燃え上がっていました。（写真：上今井区）